

# そうじの力だより

VOL.78



## 活動報告

年末年始のご挨拶 〇二〇二一年の成果、二〇二二年の課題  
〜真の意識改革に向けて〜

まさに「激動」だった二〇二一年。  
弊社にとっては、新スタッフの飯塚輝明の加入など、大きな転機になりました。  
この一年を総括してみたいと思います。

あらたにお手伝いをはじめたW社では、膨大な量の不要物や不良在庫の整理から取り組みました。



取組前の会議室

「腐らないから」「いつか売れるかも知れないから」という理由で何年も棚の「こやし」になっていた不良在庫。  
毎回私がお邪魔する度に、社員総出で、重たいもの、大きなものから処分していきま



スッキリした会議室

十一月に私が訪問すると、それまで不要物が山のように積まれて狭苦しかった会議室から、棚そのものがなくなつて、広々とした空間に生まれ変わっています。  
ある社員は「よく検討してみれば要らないものばかりでした」と述懐しています。

また、F社では、社長の「もっと社員に積極性を持ってほしい」との願いを基に、環境整備をスタートさせました。

何回かの研修や実習を経て、床磨きの実習を行ったあたりから、社員に変化が現れました。



床を磨いているところ

当初、「そうじなんかやりたくない」と嫌悪感を示していた社員も、「キレイにする」と気持ちがいい。もつとキレイにしたいという欲が出てきた」という感想を発表するようになったのです。

一方では、課題も出てきました。  
N社では、やはり膨大な量の不要物と不良在庫の処分から取り組みました。

毎回社員総出で作業した結果、ずいぶんと構内はスッキリとしました。  
ところが、足元にゴミが落ちていたので「また意識が変わる」という段階には至っていない、ということ。

何のために環境整備に取り組むのか。キレイにすることが最終目的ではありません。自立的風土、協力的風土を醸成するのが目的です。そのためには、もつと弊社自身が進化しなければいけません。

二〇二一年、みなさまには大変お世話になりました。二〇二二年もどうぞよろしく願っています。

本紙をもちまして、年末年始のご挨拶に代えさせていただきます。(小早)

## おそうじ紙上講座

中を開けて見る 〈問題を表面化させる〉  
～機械の扉、心の扉～

環境整備の視察において重要なのは、いかに隠されている汚れを表面化させるか、ということ。

表に見える部分は、誰でもそうじするものです。それをもって、「俺たちは十分にキレイにしている」と主張する人もいます。

しかし、本当に真摯に環境整備に取り組んでいるかどうかは、普段は表から隠れている部分を見れば分かります。

右の写真は、ある会社の機械の下部パネルを外したところです。



ご覧のとおり、パネルの内側にも、機械の内部にも、ピッチリと汚れがこびりついています。

この状況を目の当たりにするだけで、下手な言い訳は無用であると理解できるでしょう。

問題を正面からとらえることで、「とにかくやるしかない」と気持ちを切り替えることができるのです。

キレイにすれば、誰もが文句なく気持ちが良いものです。

視察時には、開けられる扉やパネルはとにかく開けて見る。動かせるものは動かして、その裏や奥の状況を見てみることで



とりあえずパネルだけキレイにしたところ

右上の写真は、ある会社のコピー機を少し移動させて見たところ

この会社は数年前から環境整備に取り組んでおり、そのレベルも相当に上がってきているのです。  
コピー機の下にホコリが...

しかし一方で、このように見えないところの汚れも、まだまだあります。

機械の扉を開けるのは、相手の心の扉を開けるのと同じこと。

相手の領域に踏み込むのですから、こちらにも相当の勇気が要ります。

しかし相手の懐に飛び込まなければ、意識改革などできようはずありません。

(小早)

二〇二二年は東日本大震災など、大きな自然災害に見舞われた年でした。しかし同時に、私たちの意識を変える大きな転換点でもあったと思います。



## 飯塚輝明の 「輝け！中小企業」

「いままでやるのか？」環境整備に終わりをなし

「いったい、どこまでやればいいのか？」

環境整備サプリーダーであるAさんが、不満げな顔で私に言います。

以前に勤めていた清掃用具販売会社で私が環境整備の総リーダーに就任し、会社にとって初めての環境整備活動がスタートしました。

今までの日常の清掃に加え、毎日十五分間を環境整備に充て、さらに月に二回、土曜日に数時間活動を行いました。

それ以前は、ただ床を掃くだけのそうじでした。今回は、タバコのヤニで汚れた壁面や電灯のスイッチ類など、清掃範囲が拡がり、見た目にも大きな変化がありました。

Aさんは「壁もこんなに白くなりましたよ。」と誇らしげです。

私はあえて心を鬼にして、「素晴らしい。でももっともっとキレイにしてくださいね。」と答えたのです。

その時のAさんの反応が、冒頭のセリフです。

不満げなAさんに対して私は、壁にある電灯スイッチのわずかな上面のスペースを指差して、「ほら、ここがヤニ汚れがまだ残ったままだよ。」と言いました。



「ええっ、そんなところまでやるんですかあ？」と言うAさん。

私が楊枝（ようじ）とティッシュを使ってヤニ汚れをキレイに拭きとり「ほらね」と言うと、「おお、確かにキレイになりますね。」とやっと納得してくれた様子でした。

Aさんに限らず、こんなやりとりを社員さん

たちと繰り返しながら、サッシの溝の隅の隅の

汚れや机の脚の裏の汚れなどを一

つずつキレイにしていきました。

裏の裏、隅の隅まで徹底的にキレイにすると、それに比例するように達成感も大きくなっていきます。

「どこまでやればいいのか？」という問いに対する答えは、実は真剣に取り組みは自ら分かるものです。

ただ、活動がまだ軌道に乗っていない段階では、リーダーや指導者があえて厳しめに指摘すべきでしょう。

数か月後、社員さんたちから「環境整備はどこまでやってもキリがないですね」という声がちらほらと聞こえてくるようになりました。

「この瞬間を待っていました。（飯塚）」



楊枝でサッシの隅を磨く



## お知らせ

### ◆新春経営セミナーin東京

『そうじの力で会社が甦る!』

なぜそうじを取り入れると会社が良くなるのか、その合理的メカニズムをご説明します。経営改革に成功している会社の事例のご紹介や、具体的な導入方法もお伝えします。

【日時】2012年1月20日(金)

16:00~18:00

【場所】ビジョンセンター日本橋

東京メトロ三越前駅徒歩1分

【講師】小早 祥一郎

【費用】5,000円

終了後、懇親会を開催(費用別)

参加には事前申し込みが必要です。

早めにお問い合わせください。

### ◆創業道場

来年2012年も、経営者、後継者、起業志望者を対象に「創業道場」を定期開催します。

環境整備実習

担当：小早 祥一郎

あしたの社長学

担当：須田知身(事業再生財団)

各自の経営計画書に基づく実践

発表とアドバイス。

【日程】通常開催

3月7日(水)、5月9日(水)、6月6日(水)

7月4日(水) 於高崎市

特別編「経営計画作成合宿in草津温泉」

2月1日(水)~4日(土)

特別編「経営計画発表会」

4月4日(水) 於高崎市

## 編集後記

レトロ趣味？



最近、4歳の息子はウルトラセブンに夢中です。

そう、約44年前に一世を風靡したあのウルトラセブンです。

DVDをレンタルしてきて、繰り返し観ています。



私「ただいま」

息子「ジュワッ！」

妻「ご飯よ」

息子「ジュワッ！」

そういえば、昔、こんな子供がいました。

そう、私自身です。(小早)

## 株式会社そうじの力

環境整備を核とした経営改革の支援

環境整備(規律・清潔・整頓・安全・衛生)は「人づくりと組織づくり」です。

講義、プロジェクトチームミーティング、体験実習、計画作りを通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月2回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じ

て、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。

現状調査(診断)やご相談は無料です。全国どこでも出張が可能ですので、お気軽にお問い合わせください。